

議題 4 令和 4 年度の活動方針（案）について

1 課題

- コロナ禍でも安心しておでかけできる公共交通となるよう、地域、事業者及び行政が連携して、地域の多様な輸送資源を総動員した地域公共交通ネットワークを構築すること
- 誰もが利用しやすいサービス提供ができる路線にすること

2 活動方針

目標	施策	事業	実施主体
Ⅰ公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1 公共交通を活用する意識づくり	1. 地域イベントと連携した公共交通の活用	市・地域住民・交通事業者
		2. 市民活動や高校生に使いやすい人が集う結節点	市・地域住民・交通事業者
	2 運転手確保に向けた全市的な取り組み	1. 職業紹介企業との連携による募集活動	市・交通事業者
		2. 資格取得の奨励策の調査・検討	市・交通事業者
		3. 有償運送等運転手の養成講座の開設	市
Ⅱ持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1 地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1. まちなか移動手段の確保	市・交通事業者
		2. タクシー昼間の利活用	市・タクシー事業者
	2 バスによる通学利用促進	1. 通学路線のルートやダイヤ、運賃の検証・改善	市・交通事業者・交通会議
		2. スクールバスの調査・活用	市
		3. 運賃のキャッシュレス化	市・交通事業者
	3 地域によるバス運営の展開	1. 自主運行バス運営方針の遵守	市・地域住民・交通会議
		2. 地域検討会の開催と地域路線の見直し	市・地域住民
3. 笠周 3 町内の交通の見直し（有償運送・無償運送の拡充）		市・地域住民	
4. 無償運送の発展支援		市	
Ⅲ域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1 当地域に適した MaaS の実現	1. 高校生の帰宅支援	市・交通事業者
		2. デマンド運行の配車オペレータの統合	市
		3. 運賃のキャッシュレス化（再掲）	市・交通事業者

		4. 人とアプリによる「交通コンシェルジュ」	市・交通事業者・観光協会等・アプリ事業者
		5. 日帰り旅コースの設置・運用	市・観光協会・交通事業者
		6. 定額制乗り放題運賃・年間パスポート	市・交通事業者
		7. モードを跨いだ運賃設定	市・交通事業者
		8. 移動データの取得	市・交通事業者

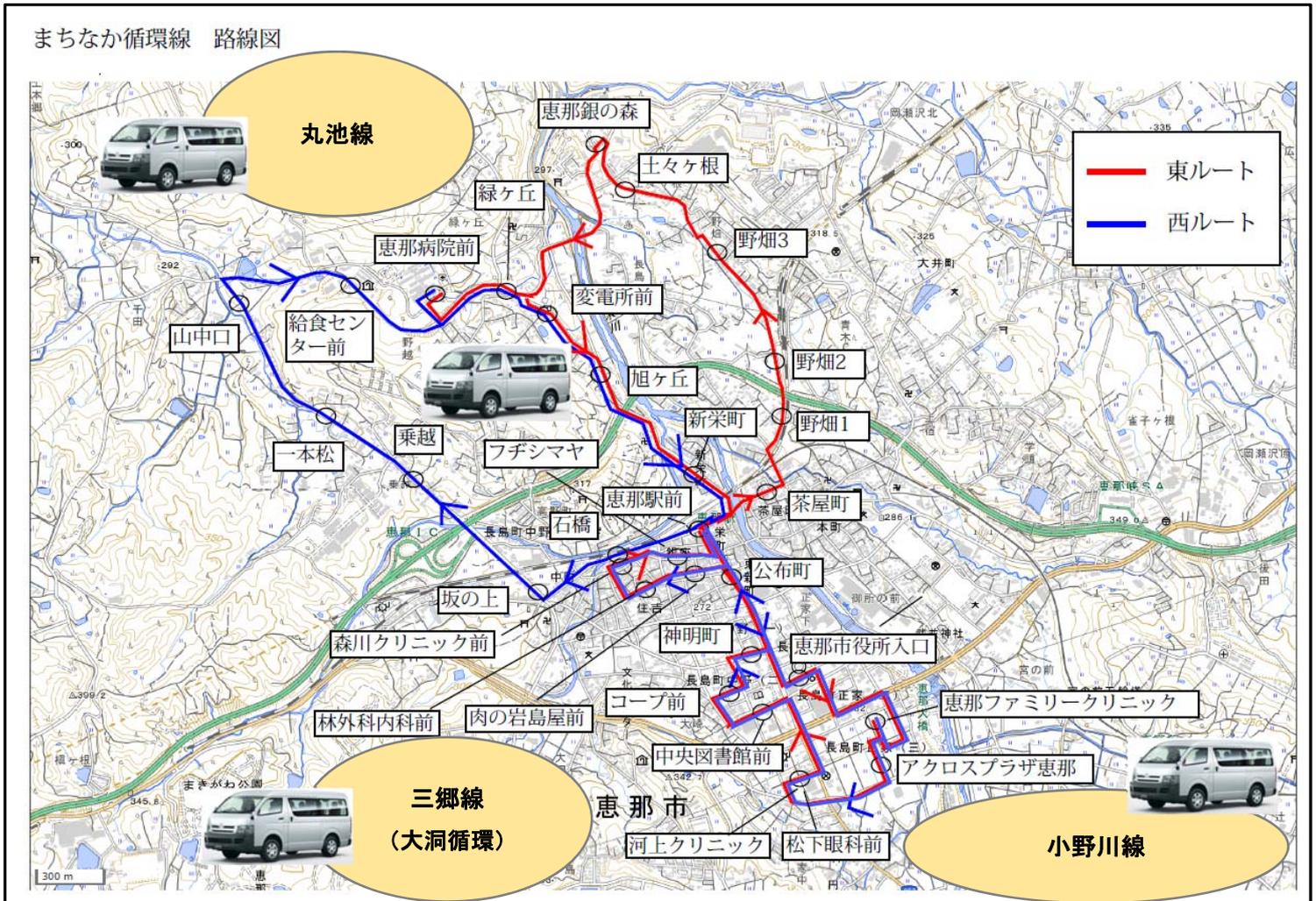
令和4年度からの実施事業

【目標】 I 公共交通を支える・活用する地域住民の活動促進

- 市民活動や高校生に使いやすく人が集う結節点 ⇒ 駅周辺で待合拠点の検討

II 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

- まちなか移動手段の確保 ⇒ 6月まちなか循環線の運行開始
シェアサイクル実証実験
- 地域検討会の開催と地域路線の見直し ⇒ 地域路線の見直し方針を基に再編
まちなか循環線への接続検討



【目標】Ⅲ 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移送できる環境の整備

●人とアプリ（WEB）による交通コンシェルジュの設置

人によるオペレータとWebにより、行先の検索・予約、支払い等の移動に対する困りごとに親身に対応する仕組みを整備し、交通弱者又は来訪者が抵抗なく自然に移動できる環境を整える。

【内容】・観光地や商業施設までの経路検索・観光情報の提供

- ・わかりやすいの乗物予約
- ・運賃と入場券が一体化等によるチケット購入・企画切符
- ・バス等の位置情報の提供
- ・移動データの取得・活用

運用開始 令和4年10月1日（土）予定

